

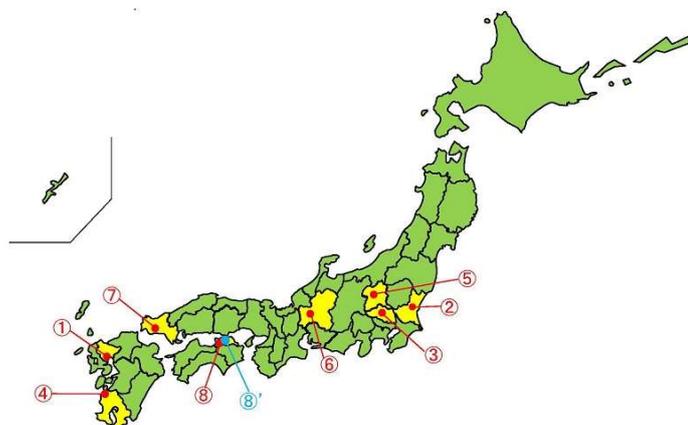
再度、国内の農場で、 鳥インフルエンザが確認されました。



JACCNET

2/6香川県の農場にて、鳥インフルエンザが確認されました。また、山口県の小羽数農場でも発生が確認されています。前年度よりも、野鳥、農場の発生件数自体は少ないものの、発生が続いており、依然高リスクな状況と考えられます。

日本全国で発生中



発生県	発生日	解除日*
①佐賀	11/25	12/20
②茨城	11/27	12/22
③埼玉	11/30	12/24
④鹿児島	12/ 3	12/26
⑤群馬	1/1	1/31
⑥岐阜	1/5	1/29
⑦山口	1/27	未定
⑧香川	2/6	未定

*移動制限区域解除日

これから渡り鳥の北帰行のシーズンに入ります。
今シーズンは、暖冬の影響もあり、移動が早まる可能性もあるため、くれぐれもご注意ください

HPAIウイルスを、入れない、持ち出さない、広げない
農場関係者だけでなく、**業界全員**で取り組んでまいりましょう。

全農 JACCネット

JA全農が提供する畜産総合情報サイト



動画版
「防疫管理の基礎知識」

全農畜産総合情報サイト「JACCネット」では、家畜防疫に関するわかりやすい動画を多数用意しています。農場従業員の方への研修用として、利用できますので。ぜひ一度ご視聴ください。



鶏舎は家畜防疫の最後の砦、 防疫の徹底強化でウイルスの侵入を防ぎましょう

病原体を入れない

1. 人、車両は立ち入りを規制する
2. 農場内に入れる時は必ず消毒する
3. 農場の入場記録をとる
4. 立ち入り禁止の看板を設置する
5. 畜舎の周囲に防鳥ネットを張る
6. 飲水は飲用に適したものにする
川水などを使う場合は必ず消毒する

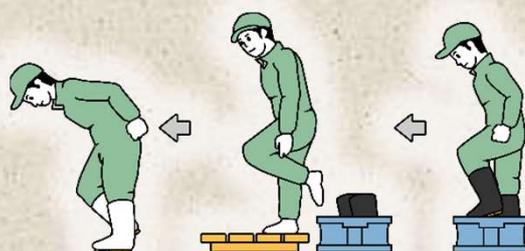
病原体を拡げない

1. 畜舎毎に専用の長靴を設置・使用
2. 畜舎毎に踏込消毒槽を設置・使用
3. 毎日、鶏の健康観察と記録をおこなう
4. 畜舎が空になったら必ず清掃・消毒
5. ネズミやハエを定期的に駆除する

病原体を持ち出さない

1. 農場内から出る際にも消毒する
2. 農場内で使用した物は持ち出さない
3. 車両の消毒はタイヤ回り、足回りを
重点的に行う

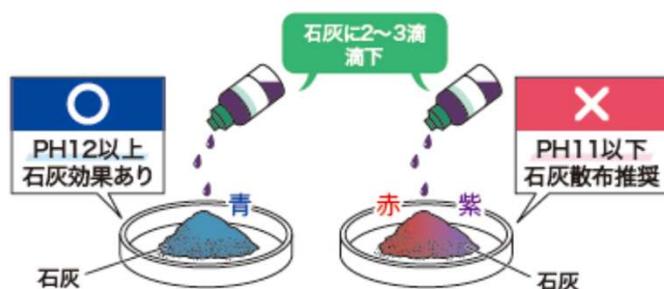
鶏舎に入る際は、スノコを使って 交差汚染を防ぎましょう



消毒資材の効率的利用で効果を高めましょう

リトアクアで散布石灰の消毒効果の目視確認

消石灰の消毒効果
を目視で判断し、
石灰追加を効果的に
判断できます



(株)科学飼料研究所

フィーネナチュラルパウダーで、低温での逆性せっけん消毒効果維持

逆性石けんは冬場の低温化
で効力が低下します。この際、
FNPパウダーを添加すること
でアルカリ化させ、消毒効果
を維持します。



(株)科学飼料研究所